

## 房総導水路施設の設備機側操作訓練を実施

平成 27 年 7 月 29 日(水)に、房総導水路事業所において、設備の機側操作訓練を土木系・事務系職員を含め 15 名が参加し実施しました。

防災時において、設備担当職員の人員が十分でない場合には、土木職や事務職の応援が必要になることが考えられます。

このため、今回の機側操作訓練は、危機管理体制の整備・強化を目的に、非常時の機側での操作を想定し、設備系以外の職員が設備概要を把握のうえ操作を習得することを主眼に行いました。

今回は、長柄ダム及び長柄揚水機場を対象として、参加者が実際にバルブの開閉操作や主ポンプの運転・停止操作を行っていただきました。

慣れない職員は戸惑いもありましたが、訓練を重ねることで迅速で適確な操作が可能になると思われます。

今年度は、さらに東金ダムや横芝揚水機場での機側操作訓練や遠方操作訓練を予定しており、危機管理体制のさらなる整備・強化を図って参ります。

参加頂いた皆さま、暑い中大変お疲れ様でした。



〔長柄ダム取水ゲート操作訓練の様子〕



〔長柄ダム取水ゲート構造説明の様子〕



〔長柄ダム緊急放流バルブ操作訓練の様子〕



〔長柄揚水機場主ポンプ操作訓練の様子〕